平成26年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月5日

上場会社名	宇部興産株式会社		上場取引所　東・福
コード番号	4208	ＵＲＬ　http://www.ube.co.jp	
代表者　（役職名）	代表取締役社長	（氏名）竹下　道夫	
問合せ先責任者（役職名）	ＩＲ広報部長	（氏名）徳光　真介	（ＴＥＬ）　03-5419-6110
四半期報告書提出予定日	平成26年2月12日		配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

１．平成26年３月期第３四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第３四半期	476,698	2.6	16,405	△29.3	11,994	△45.7	9,619	△23.5
25年３月期第３四半期	464,459	△1.4	23,194	△33.9	22,071	△29.2	12,572	△35.4

（注）包括利益　26年３月期第３四半期 16,806百万円（0.1%）　25年３月期第３四半期 16,781百万円（18.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第３四半期	9.32	9.31
25年３月期第３四半期	12.51	12.48

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第３四半期	720,028	266,426	33.8
25年３月期	685,884	250,753	31.4

（参考）自己資本　26年３月期第３四半期 243,077百万円　25年３月期 215,509百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	0.00	―	5.00	5.00
26年３月期	―	0.00	―		
26年３月期（予想）				5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ： 無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	647,000	3.4	26,000	△13.2	19,500	△30.5	12,500	51.2	12.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期３Ｑ	1,062,001,076株	25年３月期	1,009,165,006株
② 期末自己株式数	26年３月期３Ｑ	4,172,278株	25年３月期	3,756,900株
③ 期中平均株式数　（四半期累計）	26年３月期３Ｑ	1,031,615,734株	25年３月期３Ｑ	1,005,334,836株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料及び添付資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。

※　当社は、以下のとおりネットコンファレンスを開催する予定です。当日の資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成26年２月５日（水）・・・・・アナリスト、機関投資家向けネットコンファレンス

【添付資料の目次】

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 5
（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（２）追加情報 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（セグメント情報等） …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間の経済情勢は、米国では緩やかな回復が続いたものの、欧州では低迷が続き、アジアでも中国で景気の拡大テンポが減速するなど、世界経済は力強さを欠きました。一方国内経済は、円安による輸出改善や政府による各種政策の効果が下支えするなかで、景気は緩やかながらも回復基調をたどりました。

当社グループは、当期を初年度とする三カ年の中期経営計画「Change & Challenge － 更なる成長に向けて － 」において、３つの基本方針「持続的成長を可能にする収益基盤の強化」「グローバルでのグループ力の最大化」「資源・エネルギー・地球環境問題への対応と貢献」を掲げ、構造的な事業環境の変化にもスピード感を持って対応すべく、各事業課題の解決に向けて取り組んでまいりましたが、特に化学部門を取り巻く状況は厳しさが続き、いまだその成果が出るには至っていません。

この結果、当社グループの連結売上高は前年同期に比べ１２２億３千９百万円増の４，７６６億９千８百万円、連結営業利益は６７億８千９百万円減の１６４億５百万円、連結経常利益は１００億７千７百万円減の１１９億９千４百万円、連結四半期純利益は２９億５千３百万円減の９６億１千９百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結四半期純利益
当第３四半期	４，７６６億円	１６４億円	１１９億円	９６億円
前 年 同 期	４，６４４億円	２３１億円	２２０億円	１２５億円
増　減　率	２．６％	△２９．３％	△４５．７％	△２３．５％

セグメント別の概況は以下のとおりです。

化成品・樹脂セグメント

ナイロン原料のカプロラクタムは、中国での相次ぐ他社新設備稼働開始に伴う供給過剰により市況の低迷が続くとともに、設備トラブル等もあり出荷が減少しました。ポリブタジエン（合成ゴム）も、原料であるブタジエン市況が乱高下し採算が悪化しました。ナイロン樹脂、工業薬品は総じて堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ１８億４千６百万円増の１，６４７億６千１百万円、連結営業損益は６３億４千６百万円減の２０億３千９百万円の損失となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第３四半期	１，６４７億円	△２０億円
前 年 同 期	１，６２９億円	４３億円
増　減　率	１．１％	－

機能品・ファインセグメント

リチウムイオン電池用の電池材料については、電解液の出荷は前年同期並みで推移しましたが、セパレーターは大幅な価格の下落に見舞われました。ファインケミカル製品や電子情報材料分野をはじめとするその他の機能性材料は、需要回復傾向にある製品が見られるものの、出荷は依然として低調に推移しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ１億５千２百万円増の４７０億７千５百万円、連結営業利益は１３億２千万円減の２億１千５百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第３四半期	４７０億円	２億円
前 年 同 期	４６９億円	１５億円
増　減　率	０．３％	△８６．０％

医薬セグメント

自社医薬品の抗血小板剤の原体販売数量は堅調でしたが、その他の自社医薬品の原体と、受託医薬品の原体・中間体の販売は低調に推移しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ１５億円減の６８億５千７百万円、連結営業利益は１５億１千３百万円減の１２億３千３百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第３四半期	６８億円	１２億円
前 年 同 期	８３億円	２７億円
増 減 率	△１７．９％	△５５．１％

建設資材セグメント

セメント・生コン及び建材製品は、復興需要の本格化に加え、公共投資や民間需要が堅調に推移したことにより、国内出荷は前年同期を上回り、円高是正もあり輸出採算の改善も進みました。各種廃棄物のリサイクル事業も堅調でした。カルシア・マグネシア製品分野においても、東北向け土質改良材の出荷が増加し、鉄鋼向け耐火物需要も持ち直しの傾向が見られました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ１２０億４千６百万円増の１，６８０億４千２百万円、連結営業利益は３９億９千３百万円増の１２０億１千５百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第３四半期	１，６８０億円	１２０億円
前 年 同 期	１，５５９億円	８０億円
増 減 率	７．７％	４９．８％

機械・金属成形セグメント

堅型ミルや運搬機等の産業機械は、出荷は前年同期を下回りましたが、円高是正もあり受注環境は回復しつつあります。自動車産業向けを中心とする成形機は、新機種の市場への浸透が進み、日系ユーザーの新興国・北米向け新設、増設案件を中心に出荷が好調でした。機械サービスも堅調に推移し、また、製鋼品は受注環境が厳しい中、出荷は堅調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ２１億１百万円増の５３０億３千万円、連結営業利益は３億１千８百万円増の３１億１千万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第３四半期	５３０億円	３１億円
前 年 同 期	５０９億円	２７億円
増 減 率	４．１％	１１．４％

エネルギー・環境セグメント

石炭事業は、販売炭の売上数量は増加したものの、預り炭の数量は前年同期を下回りました。電力事業は、ＩＰＰ発電所の定期検査及びその後の設備トラブルにより売電量が大幅に減少しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ４８億５千５百万円減の４４６億９千９百万円、連結営業利益は２９億２千万円減の１３億１千２百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第３四半期	４４６億円	１３億円
前 年 同 期	４９５億円	４２億円
増 減 率	△９．８％	△６９．０％

その他のセグメント

その他の連結売上高は前年同期に比べ１９億８千２百万円増の２１３億５千２百万円、連結営業利益は３百万円増の８億５千３百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第３四半期	２１３億円	８億円
前 年 同 期	１９３億円	８億円
増　減　率	１０．２％	０．４％

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期末の総資産は前年度末に比べ、受取手形及び売掛金が１０７億３千３百万円、商品及び製品などのたな卸資産が１５５億９千８百万円、有形固定資産が３５億２千１百万円増加したことなどにより、３４１億４千４百万円増加し７，２００億２千８百万円となりました。

負債については、未払法人税等が３２億９千万円、賞与引当金が３５億３千万円減少した一方、支払手形及び買掛金が１２３億２千５百万円、有利子負債が１２１億９千８百万円増加したことなどにより、１８４億７千１百万円増加し４，５３６億２百万円となりました。

純資産は、宇部マテリアルズ株式会社を株式交換により完全子会社化したことなどにより、少数株主持分が１１９億３千２百万円減少し、資本剰余金が９９億３千万円増加しております。また剰余金の配当により利益剰余金が５０億３千５百万円減少しましたが、四半期純利益により利益剰余金が９６億１千９百万円増加、為替換算調整勘定が１３２億４百万円改善したことなどにより、１５６億７千３百万円増加し２，６６４億２千６百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済情勢につきましては、国内は景気の回復基調が続くことが期待されるものの、中国をはじめとする新興国経済の先行きなど世界景気の下振れも懸念されるなか、事業によって状況は異なるものの、当社グループ全体としては引き続き厳しい環境が続くことが見込まれます。

こうした情勢を踏まえ、通期の業績予想につきましては、平成２５年９月３０日に公表しましたとおり、売上高６，４７０億円、営業利益２６０億円、経常利益１９５億円、当期純利益１２５億円を見込んでおります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（２）追加情報

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

従来、決算日が12月31日である連結子会社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っておりましたが、ウベ・ケミカル・ヨーロッパ，エスエーほか10社については連結財務情報のより適正な開示を図るため、第１四半期連結会計期間より、決算日を３月31日に変更しております。

この決算期変更に伴い、当第３四半期連結累計期間は、平成25年４月１日から平成25年12月31日までの９ヶ月間を連結しております。なお、平成25年１月１日から平成25年３月31日までの３ヶ月の損益については、利益剰余金に直接計上するとともに、キャッシュ・フローについては、現金及び現金同等物の期首残高の調整項目として計上し、「関係会社の報告期間変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）」に表示しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,280	33,590
受取手形及び売掛金	143,223	153,956
商品及び製品	36,272	44,570
仕掛品	19,142	22,301
原材料及び貯蔵品	26,340	30,481
その他	26,649	32,589
貸倒引当金	△507	△710
流動資産合計	287,399	316,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	88,276	87,238
機械装置及び運搬具（純額）	131,815	139,748
土地	85,099	85,481
その他（純額）	18,527	14,771
有形固定資産合計	323,717	327,238
無形固定資産		
その他	4,876	5,151
無形固定資産合計	4,876	5,151
投資その他の資産		
投資有価証券	40,786	43,944
その他	30,056	27,798
貸倒引当金	△1,076	△1,025
投資その他の資産合計	69,766	70,717
固定資産合計	398,359	403,106
繰延資産	126	145
資産合計	685,884	720,028

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,247	95,572
短期借入金	102,559	103,731
コマーシャル・ペーパー	1,999	19,998
1年内償還予定の社債	100	120
未払法人税等	5,897	2,607
賞与引当金	7,117	3,587
その他の引当金	1,221	1,117
その他	48,796	50,666
流動負債合計	250,936	277,398
固定負債		
社債	30,000	40,080
長期借入金	110,390	93,570
退職給付引当金	6,544	6,514
その他の引当金	4,836	3,722
負ののれん	1,461	1,265
資産除去債務	1,174	1,194
その他	29,790	29,859
固定負債合計	184,195	176,204
負債合計	435,131	453,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	28,465	38,395
利益剰余金	135,981	139,303
自己株式	△776	△887
株主資本合計	222,105	235,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,436	3,478
繰延ヘッジ損益	△278	△97
為替換算調整勘定	△8,754	4,450
その他の包括利益累計額合計	△6,596	7,831
新株予約権	508	545
少数株主持分	34,736	22,804
純資産合計	250,753	266,426
負債純資産合計	685,884	720,028

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	464,459	476,698
売上原価	383,226	400,631
売上総利益	81,233	76,067
販売費及び一般管理費	58,039	59,662
営業利益	23,194	16,405
営業外収益		
受取利息	325	320
受取配当金	417	377
受取賃貸料	904	804
負ののれん償却額	106	99
持分法による投資利益	1,193	－
為替差益	424	184
その他	3,102	2,009
営業外収益合計	6,471	3,793
営業外費用		
支払利息	2,709	2,253
賃貸費用	705	528
持分法による投資損失	－	370
その他	4,180	5,053
営業外費用合計	7,594	8,204
経常利益	22,071	11,994
特別利益		
固定資産売却益	251	154
投資有価証券売却益	116	6
補助金収入	50	－
事業譲渡益	264	－
負ののれん発生益	65	2,841
特別利益合計	746	3,001
特別損失		
固定資産処分損	973	424
投資有価証券売却損	3	5
持分変動損失	213	－
減損損失	2,739	83
投資有価証券評価損	27	30
設備停止に係る損失	－	843
特別損失合計	3,955	1,385
税金等調整前四半期純利益	18,862	13,610
法人税等	5,613	4,159
少数株主損益調整前四半期純利益	13,249	9,451
少数株主利益又は少数株主損失（△）	677	△168
四半期純利益	12,572	9,619

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	13,249	9,451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	1,042
繰延ヘッジ損益	△53	184
為替換算調整勘定	3,656	5,355
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	774
その他の包括利益合計	3,532	7,355
四半期包括利益	16,781	16,806
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,959	16,952
少数株主に係る四半期包括利益	822	△146

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,862	13,610
減価償却費	23,417	24,002
減損損失	2,739	83
負ののれん償却額	△106	△99
負ののれん発生益	△65	△2,841
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△205	156
受取利息及び受取配当金	△742	△697
支払利息	2,709	2,253
為替差損益（△は益）	△186	371
持分法による投資損益（△は益）	△1,193	370
固定資産売却損益（△は益）	△230	△114
売上債権の増減額（△は増加）	5,800	△6,912
たな卸資産の増減額（△は増加）	△11,754	△12,144
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,088	8,836
その他	△2,325	△4,541
小計	35,633	22,333
利息及び配当金の受取額	1,551	1,154
利息の支払額	△2,355	△1,964
補償金の受取額	676	983
法人税等の支払額	△11,309	△6,884
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,196	15,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△28,915	△25,615
有形固定資産の売却による収入	463	259
投資有価証券の取得による支出	△4	△107
投資有価証券の売却による収入	39	14
関係会社株式の取得による支出	△4,471	△2,694
関係会社株式の売却による収入	4,021	7
短期貸付金の増減額（△は増加）	162	△1
その他	△48	△203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,753	△28,340
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,655	635
コマーシャル・ペーパーの増減額（△は減少）	8,000	17,999
長期借入れによる収入	13,127	6,462
長期借入金の返済による支出	△18,332	△23,919
社債の発行による収入	14,925	10,053
社債の償還による支出	△15,000	－
少数株主からの払込みによる収入	9,663	－
配当金の支払額	△5,051	△5,053
少数株主への配当金の支払額	△1,081	△747
その他	△1,045	△747
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,861	4,683
現金及び現金同等物に係る換算差額	209	1,668
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,513	△6,367
現金及び現金同等物の期首残高	33,107	35,962
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	197	327
関係会社の報告期間変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	－	3,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,817	33,210

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年８月１日を効力発生日として当社を株式交換完全親会社とし、連結子会社である宇部マテリアルズ株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。当該株式交換を主因として、当第３四半期連結累計期間において資本剰余金が9,930百万円、自己株式が111百万円それぞれ増加しております。この結果、当第３四半期連結会計期間末において資本剰余金が38,395百万円、自己株式が887百万円となっております。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント								調整額（注1）	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	化成品・樹脂	機能品・ファイン	医薬	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	152,858	44,013	8,312	152,036	49,779	40,136	17,325	464,459	－	464,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,057	2,910	45	3,960	1,150	9,418	2,045	29,585	△29,585	－
計	162,915	46,923	8,357	155,996	50,929	49,554	19,370	494,044	△29,585	464,459
セグメント利益（営業利益）	4,307	1,535	2,746	8,022	2,792	4,232	850	24,484	△1,290	23,194

（注1）　セグメント利益の調整額△1,290百万円には、セグメント間取引消去46百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,336百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

（注2）　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント								調整額（注1）	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	化成品・樹脂	機能品・ファイン	医薬	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	154,846	43,609	6,857	163,935	51,976	36,280	19,195	476,698	－	476,698
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,915	3,466	－	4,107	1,054	8,419	2,157	29,118	△29,118	－
計	164,761	47,075	6,857	168,042	53,030	44,699	21,352	505,816	△29,118	476,698
セグメント利益又は損失（△）（営業利益又は損失（△））	△2,039	215	1,233	12,015	3,110	1,312	853	16,699	△294	16,405

（注1）　セグメント利益又は損失（△）の調整額△294百万円には、セグメント間取引消去60百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△354百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

（注2）　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。